令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010101

まちづくりの目標		第1章	人を育むまちづくり（こども・学び部門）	評価責任者	こども福祉部長
基本事項	施策名	第1節	妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実	所管部署名	こども福祉部子育て支援課
	施策の展開	1	(1)きめ細かな妊娠・出産・子育て支援	関連部署名	こども福祉部障がい福祉課
		2	(2)子どもの健やかな成長の支援		健康長寿部健康増進課
		3	(3)配慮が必要な子ども・家庭への支援		教育委員会教育総務課
		4	(4)若者支援		
				施策の目的	・こどもたちが希望を持って健やかに成長できることをめざします。
	関連する個別計画・方針等	吉川市こども計画			

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	乳児への安否確認実施率	%	100	100	100	100	100
			R2	R7	R7	R7	R8
	年少人口（0歳から14歳）	人	10,462	8,705	10,157	85.7	10,229
			R2	R7	R7	R7	R8
	子育て支援の取組に対する市民満足度（市民意識調査）	%	72.9	69.8	74	94.3	75
			R3	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☑ おおむね順調 ☐ やや順調でない ☐ 順調でない	・こども家庭センターを設置し、児童福祉と母子保健とを一体化して連携をより強化したことで、こどもや妊産婦のリスクを早期に把握し、関係機関とも協力して支援体制を図ることができた。	3
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☑ 反映できた ☐ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	・「こども計画」の策定に際して、こどもや知識経験者からの意見を反映し、こどもの最善の利益の実現を第一とするこども主体の考え方を新たに基本理念に加えた。	4
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	・こどもたちが健やかに自分らしく成長できる地域社会を築くうえで、様々な視点からきめ細やかに各取組を推進できるよう、事務事業を設定しており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
・少子化や核家族化、地域のつながりの希薄化などにより、保護者の子育てに対する不安感や孤立感の増大、また、児童虐待やこどもの貧困などのこどもや子育てをめぐる課題が複雑化している。 ・吉川市総合振興計画、吉川市こども計画などに基づき、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援に主眼を置いた総合的な子育て支援体制の充実に取り組んできた。 ・児童福祉法や母子保健法に基づき設置した「こども家庭センター」を効果的に活用し、切れ目のない支援を行っていく必要がある。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開
・きめ細やかな妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の推進を図るために、引き続き児童福祉機能と母子保健機能とが連携しながら、「こども家庭センター」を中心とした一体的なこども・子育て支援に取り組んでいく。

10010101

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000169	母子保健事業	パパママ学級参加人数	人	200	144	現状のまま継続
2	01000656	乳児家庭全戸訪問事業	乳児家庭訪問率	%	90	93.2	他の事業に統合
3	01000715	子育て世代包括支援センター運営事業	妊娠の届出数	人	500	477	現状のまま継続
4	01000889	県・市連携子育てファミリー応援事業	贈呈者	人	60	65	終了・完了
5	01000130	子ども医療費支給事業	医療費の支給率	%	95	93	現状のまま継続
6	01000131	ひとり親家庭等医療費支給事業	医療費の支給率	%	110	112	現状のまま継続
7	01000140	児童手当支給事業	受給者数（18歳年度末までの児童を養育する者）	人	6,200	6,282	現状のまま継続
8	01000141	児童扶養手当支給事業	支給対象者率	%	4	4.6	現状のまま継続
9	01000944	物価高対応子育て応援手当支給事業	支給した児童数	人	11,200	11,288	終了・完了
10	01000127	児童健全育成事業	助産施設利用措置件数	件	3	2	現状のまま継続
11	01000583	児童虐待防止対策事業	要保護児童対策地域協議会での管理ケース数	件	30	47	現状のまま継続
13	01000830	若者支援事業	フリースクール利用料等助成制度の活用	件	6	2	現状のまま継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010102

まちづくりの目標		第1章 人を育むまちづくり（こども・学び部門）		評価責任者	こども福祉部長
基本事項	施策名	第2節 安心して子育てできる環境の充実		所管部署名	こども福祉部子育て支援課
	施策の展開	1	(1)地域で子育てを支える体制づくり	関連部署名	こども福祉部保育幼稚園課
		2	(2)子育て環境の充実		市民生活部危機管理課
					教育委員会学校教育課
					教育委員会生涯学習課
				施策の目的	・こどもを生み育てたいという希望の持てる、支え合いの地域社会をめざします。
	関連する個別計画・方針等	吉川市こども計画			

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	保育所待機児童数	人	10	5	0	0	0
			R3	R7	R7	R7	R8
	年少人口（0歳から14歳）【再掲】	人	10,462	8,705	10,157	85.7	10,229
			R2	R7	R7	R7	R8
	子育て支援の取組に対する市民満足度（市民意識調査）【再掲】	%	72.9	69.8	74	94.3	75
			R3	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☑ おおむね順調 ☐ やや順調でない ☐ 順調でない	・子ども・子育て支援法に基づく「吉川市こども計画」の進捗を図り、こども誰でも通園制度を開始するための準備をするなど、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供の確保や、関連する業務を円滑に実施した。	3
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☑ 反映できた ☐ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	・令和4年度「子育て世帯生活実態調査」、令和5年度「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施して生活状況等を把握し、令和5年度に「第2期子どもの貧困対策推進計画」、令和6年度に「こども計画」を策定した。	4
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	・こどもを生み育てたいという希望の持てる、支え合いの地域社会を目指す上で、広い視点からきめ細やかに各取組を推進できるよう、事務事業を設定しており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
・地域で子育てを支える体制づくりや子育て環境の充実を図る一方で、核家族化、地域コミュニティの希薄化、ライフスタイルの変化や働き方の多様化などが進み、子育てに対する孤立感や負担感が一層増している。 ・待機児童の解消については、これまで保育施設の新設など保育提供量の確保に努めた結果、待機児童数の減少につながっているが、保育ニーズの高まりから解消するまでに至っていない。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開
・こども基本法に基づき策定した「こども計画」の各施策の着実な展開を図る。 ・児童館、子育て支援センターなどの地域の拠点となる施設や、ファミリー・サポート・センター事業による地域における子育ての相互援助活動などを通じて、地域で子育てを支援する体制づくりを進める。 ・将来の保育需要を見据えながら、待機児童解消に向けた計画的な幼児教育・保育事業の確保・提供を図るとともに、教育・保育の質の向上に努める。

10010102

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000128	青少年相談員活動推進事業	青少年相談員主催事業実施回数	回	3	3	現状のまま継続
2	01000133	子育て支援センター運営事業	子育て支援センター（おあしす）利用者	人	6,000	6,530	現状のまま継続
3	01000134	ファミリーサポートセンター運営事業	協力会員・両方会員合計人数	人	285	282	現状のまま継続
4	01000139	ひとり親家庭等自立支援事業	相談受付件数	人	300	376	現状のまま継続
5	01000150	児童館施設管理事業	児童館利用者数	人	34,000	32,039	現状のまま継続
6	01000151	天文科学運営事業	プラネタリウム観覧者数	人	4,000	3,833	現状のまま継続
7	01000152	児童館運営事業	事業参加者数	人	8,500	5,486	現状のまま継続
8	01000582	児童ショートステイ事業	ショートステイ利用日数	日	7	0	現状のまま継続
9	01000584	緊急サポート事業	利用件数	件	40	34	現状のまま継続
10	01000592	母親クラブ支援事業	母親クラブ活動参加率	%	75	39.3	現状のまま継続
11	01000646	こども計画推進事業	計画の進捗率(幼児期の学校教育・保育)	人	0	5	現状のまま継続
12	01000690	ホームスタート事業	ホームスタート訪問件数	件	40	39	現状のまま継続
13	01000691	子育て世帯訪問支援事業	子育て世帯訪問支援事業利用回数	回	30	48	現状のまま継続
14	01000706	子どもの貧困対策推進事業	こども未来応援集会開催数	回	3	3	現状のまま継続
15	01000143	市立保育所管理運営事業	市立保育所入所率	%	100	89.67	現状のまま継続
16	01000148	学童保育事業	学童保育室入室待機児童数	人	0	0	現状のまま継続
17	01000277	幼児教育事業	幼保小連絡協議会回数	回	2	3	現状のまま継続
18	01000472	一時保育運営事業	一時保育利用件数	人	1,500	1,216	現状のまま継続
19	01000651	施設型給付事業	施設型給付費	千円	349,731	341,332	現状のまま継続
20	01000652	施設型給付補助事業	延長保育実施保育所数	所	2	2	改善の上で継続
21	01000653	地域型保育給付事業	地域型保育給付費	千円	362,854	328,473	現状のまま継続
22	01000716	利用者支援事業	保育施設の入所待機となった児童数	人	0	5	現状のまま継続
23	01000730	地域型保育補助事業	延長保育実施保育所数	所	7	7	改善の上で継続
24	01000740	保育充実事業	送迎保育利用者数	人	200	339	現状のまま継続
25	01000768	施設等利用給付金給付事業	施設等利用給付額	千円	218,447	203,580	現状のまま継続
26	01000775	民間保育所保育委託事業	保育施設の入所待機となった児童数	人	0	5	現状のまま継続
27	01000776	民間保育所特別保育支援事業	延長保育実施保育所数	所	7	7	改善の上で継続
28	01000851	幼児教育・保育施設支援事業	福祉施設等事業継続支援金	千円	6,456	6,454	終了・完了
29	01000921	乳児等通園支援事業	乳児等通園支援事業利用登録者数	人		25	現状のまま継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010103

まちづくりの目標	第1章 人を育むまちづくり（こども・学び部門）		評価責任者	教育部長	
基本事項	施策名	第3節 家庭と地域の教育力の向上	所管部署名	教育委員会生涯学習課	
	施策の展開	1 (1)家庭教育学級の充実	関連部署名	教育委員会学校教育課	
		2 (2)地域の教育力の活用			
		3 (3)地域と学校の連携・協力			
			施策の目的	・家庭の中で、子どもが社会で生活する力が身につくことをめざします。 ・地域や学校が連携・協力して家庭教育を支えることをめざします。	
	関連する個別計画・方針等	吉川市教育大綱			
		吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期第1版）			

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	家庭教育学級への参加者数	人	1,699	0	2,000	0	2,000
			R1	R7	R7	R7	R8
	放課後子ども教室に満足している参加者の割合	%	93.5	96.4	95	101.5	95
			H30	R7	R7	R7	R8
	子ども体験活動の実施事業数	事業	50	11	63	17.5	63
			R1	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☐ おおむね順調 ☑ やや順調でない ☐ 順調でない	家庭教育学級や子ども体験活動については、保護者会・PTAにおいて保護者の負担軽減が図られていることや地域活動の担い手不足が進んでいることから、活動の縮小傾向が止まらず、目標値を大きく下回った。	2
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☐ 反映できた ☑ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	家庭教育学級や子ども体験活動では、説明会や連絡調整会を開催し、各団体から意見を伺い、放課後子ども教室ではアンケートで児童や保護者の声を聴き、できる限り事業に反映した。	3
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☐ 妥当であった ☑ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	子どもが社会で生活する力を身に付けるため、家庭や地域の教育力の向上を図る上で、行政の役割を果たす事務事業で構成されており、妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	3

施策に関する現状と課題	総合評価
・保護者会やPTAの中で保護者負担の軽減の動きが進んでいることや地域の担い手も不足していることから、市民主体の活動は今後も縮小傾向が見込まれる。 ・家庭教育においては、教育委員会主催の家庭教育講演会を開催し、保護者の学びの場の確保に努めた。 ・公民館やおあしす等においても家庭教育事業を実施していることから、改めて家庭教育事業の成果指標を検討する必要がある。	B：施策の目的が概ね達成されている

今後の展開
・現在活動している団体が活動を継続できるよう、丁寧にご意見を伺いながら、必要な情報提供や支援を行っていく。 ・市民主体の取組が難しい状況にあることから、現在公民館やおあしす等で実施している取組を積極的にPRするとともに、令和7年度に実施した家庭教育講演会のような教育委員会主催事業を検討していく。 ・本事業と同様、保護者の学びを支えている子育て支援関連事業との連携も検討していく。

10010103

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000319	家庭教育推進事業	家庭教育学級への参加者数	人	200	0	改善の上で継続
2	01000318	社会教育推進事業（社会教育総務費）	社会教育委員の活動	%	90	87	改善の上で継続
3	01000711	放課後子ども教室事業	参加者アンケートの満足度	%	90	96	現状のまま継続
4	01000317	子ども体験活動事業	子ども体験活動の実施事業数	事業	20	11	現状のまま継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010104

まちづくりの目標		第1章 人を育むまちづくり（こども・学び部門）		評価責任者	教育部長
基本事項	施策名	第4節 未来を切り拓く力を培う学校教育の充実		所管部署名	教育委員会学校教育課
	施策の展開	1	(1)確かな学力の育成	関連部署名	こども福祉部保育幼稚園課
		2	(2)健やかな心と身体の成長		教育委員会教育総務課
		3	(3)非認知能力の育成		
		4	(4)地域と歩む学校づくり		
		5	(5)教育環境と学校施設の整備	施策の目的	・教育大綱が目指す児童生徒の姿の具現化のために、学力・体力・非認知能力を含めた多様な学びの推進を図ります。
		6	(6)教職員の指導力の向上		
		7	(7)進学機会の確保		
	関連する個別計画・方針等	吉川市教育大綱			
		吉川市学校教育情報化推進計画（第3版）			

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	学力を伸ばした児童生徒の割合（埼玉県学力・学習状況調査）（小学生）	%	77.7	67.8	74.5	91	80
			R3	R7	R7	R7	R8
	学力を伸ばした児童生徒の割合（埼玉県学力・学習状況調査）（中学生）	%	68.8	72.6	72.5	100.1	75
			R3	R7	R7	R7	R8
	新体力テストの5段階絶対評価で上位3段階の児童生徒の割合（小学生）	%	83	82.5	85	97.1	85
			R3	R7	R7	R7	R8
	新体力テストの5段階絶対評価で上位3段階の児童生徒の割合（中学生）	%	83.6	81	85	95.3	88
			R3	R7	R7	R7	R8
	自分には良いところがあると思うと回答した割合（全国学力・学習状況調査）（小学生）	%	74.9	86.2	85	101.4	85
			R3	R7	R7	R7	R8
	自分には良いところがあると思うと回答した割合（全国学力・学習状況調査）（中学生）	%	78.8	87.2	75	116.3	80
			R3	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☑ おおむね順調 ☐ やや順調でない ☐ 順調でない	・調査の結果から各学校の実態に応じた適切な対応が必要となる状況である。 ・引き続き、吉川市教育大綱に基づき、授業改善に努め、学力、体力、非認知能力が向上するようにしていく。	3
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☑ 反映できた ☐ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	・学校運営協議会等を通じて、保護者及び地域住民等の学校運営への参画や支援・協力を促進し、地域の特性やニーズを教育活動に反映している。	4
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	・吉川市教育大綱に基づき、児童生徒が郷土を愛し、未来を切り拓く力を培う教育を充実させるための事務事業で構成されており、妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
・市教育委員会の各校訪問時や市教育委員会主催の研修において、調査の結果分析の方法や重要な視点を確認している。その視点に基づき各校において調査結果の分析及び研修を実施し、総合的な授業改善に取り組んでいる。 ・学校運営協議会等を通じて、保護者及び地域住民等の学校運営への参画や支援・協力を促進し、地域の特性やニーズを教育活動に反映している。 ・吉川市教育大綱に基づき、発達段階を踏まえた郷土学習や志を高める教育を全教育活動を通し、継続して実施している。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開	
	・学習指導要領の改訂に向けた国の動向を注視しながら、引き続き、教育大綱の目指す児童生徒の姿の具現化に向け、授業改善を中心とした総合的な学力・体力の向上に努めていく。 ・指導主事が各学校の支援を充実し、保護者ニーズや学校ニーズの的確な把握及びそれに対する対応を充実させていく。 ・教職員一人ひとりの資質向上のため、引き続き市教育委員会主催の研修や学校で行う校内研修の内容を改善していく。

10010104

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000278	外国語教育推進事業	語学指導者1名当たりの勤務日数	日	206	210	現状のまま継続
2	01000279	教育指導事業	スクールロイヤー学校訪問数	校	12	12	現状のまま継続
3	01000280	教職員研修事業	人権教育実践資料集評価	点	8	8	現状のまま継続
4	01000283	特色ある教育推進事業	特色ある教育を実践した小中学校	校	12	12	現状のまま継続
5	01000284	教育研究負担事業	負担金等支出団体数	団体	33	27	現状のまま継続
6	01000285	特別支援教育充実事業	特別支援員一人当たりの平均勤務日数	日	181	204	現状のまま継続
7	01000286	少人数指導推進事業	少人数教育支援員一人当たりの勤務日数	人	180	199	現状のまま継続
8	01000287	学校図書充実事業	学校図書館司書一人当たり勤務日数	日	115	111	現状のまま継続
9	01000289	教育内容充実事業	学校運営協議会実施校数	校	12	12	現状のまま継続
10	01000304	教科書購入事業（小学校）	教科書・指導書等給与人数	人	4,177	4,152	現状のまま継続
11	01000311	教科書購入事業（中学校）	教科書・指導書当給与人数	人	2,205	2,152	現状のまま継続
12	01000831	ICT教育推進事業	（小学生）全国学力・学習状況調査週3回以上授業でICT機器を使用した割合	%	70	65.5	現状のまま継続
13	01000590	学校給食充実事業	会計年度任用職員(配膳員)勤務日数	日	187	187	現状のまま継続
14	01000591	学校給食センター管理事業	学校給食センターにおける給食対象者	人	6,370	6,370	改善の上で継続
15	01000600	給食食材購入事業	給食の満足度	%	93.6	94.6	現状のまま継続
16	01000713	学校給食センター整備運営事業	学校給食を提供できなかった回数	回	0	0	現状のまま継続
17	01000832	学校保健事業	児童生徒（就学予定児童含）健康診断受診率	%	100	98.7	現状のまま継続
18	01000299	施設管理事業（小学校）	事故件数	件	0	0	現状のまま継続
19	01000300	学校運営事業（小学校）	消耗品費の執行率	%	100	99.43	改善の上で継続
20	01000301	学校施設整備事業（小学校）	施設の長寿命化及び省エネルギー化検討のための現場確認回数	回	16	16	現状のまま継続
21	01000302	教育機器整備事業（小学校）	学習用端末の整備率	%	100	110.3	現状のまま継続
22	01000306	施設管理事業（中学校）	事故件数	件	0	0	現状のまま継続
23	01000307	学校運営事業（中学校）	消耗品費の執行率	%	100	96.67	改善の上で継続
24	01000308	学校施設整備事業（中学校）	施設の長寿命化及び省エネルギー化検討のための現場確認回数	回	8	8	現状のまま継続
25	01000309	教育機器整備事業（中学校）	学習用端末の整備率	%	100	107.3	現状のまま継続
26	01000565	教材備品整備事業（小学校）	予算執行率	%	100	98.14	現状のまま継続
27	01000566	教材備品整備事業（中学校）	予算執行率	%	100	93.9	現状のまま継続
28	01000567	学校施設修繕事業（中学校）	学校施設不具合箇所等の解消率	%	90	73	現状のまま継続
29	01000569	体育大会派遣補助事業	制度周知回数	回	1	1	現状のまま継続
30	01000599	学校施設修繕事業（小学校）	学校施設不具合箇所等の解消率	%	90	73	現状のまま継続
31	01000752	空調設備整備事業（小学校）	空調稼働校数	校	8	8	現状のまま継続
32	01000753	空調設備整備事業（中学校）	空調稼働校数	校	4	4	現状のまま継続
33	01000303	就学援助事業（小学校）	就学援助率	%	8.5	7.03	現状のまま継続
34	01000310	就学援助事業（中学校）	就学援助率	%	9	9.15	現状のまま継続
35	01000563	特別支援教育就学奨励費補助事業（小学校）	支給決定した児童数	人	100	137	現状のまま継続
36	01000564	特別支援教育就学奨励費補助事業（中学校）	支給決定した生徒数	人	51	59	現状のまま継続
37	01000774	教育資金利子補給事業	交付決定率	%	100	100	現状のまま継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010105

まちづくりの目標	第1章 人を育むまちづくり（こども・学び部門）		評価責任者	教育部長	
基本事項	施策名	第5節 青少年健全育成の充実	所管部署名	教育委員会学校教育課	
	施策の展開	1 (1)教育相談活動の充実	関連部署名		
		2 (2)いじめや不登校の早期対応・解消			
		3 (3)健全育成活動の充実			
		4 (4)非行防止活動の充実	施策の目的	・未来を担う青少年が心身ともに健やかに成長し、社会において自立できることをめざします。	
	関連する個別計画・方針等	吉川市いじめの防止等のための基本的な方針			

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	教育相談員・学校相談員（さわやか相談員、あおぞら相談員）が受けた相談について解決・改善した件数の割合（小学生）	%	75.9	86.3	83.5	103.4	85
			R2	R7	R7	R7	R8
	教育相談員・学校相談員（さわやか相談員、あおぞら相談員）が受けた相談について解決・改善した件数の割合（中学生）	%	79.4	72.9	80.7	90.3	81
			R2	R7	R7	R7	R8
	吉川市で育つ子どもが「未来を生きる力」を身に付けていると思う市民の割合（市民意識調査）	%	40.1	54.7	44	124.3	45
			R3	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☑ おおむね順調 ☐ やや順調でない ☐ 順調でない	各種相談において丁寧な聞き取りを行うことにより、保護者や児童生徒が抱える課題を的確に把握し、解決策に導くことができた。	3
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☐ 反映できた ☑ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	様々な施策により、市民意識調査における満足度を向上させることができた。	3
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	各指導員や相談員等が得た情報を、学校や関係機関と共有することにより、課題の早期解決につながる構成となっているため妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
保護者や児童生徒が抱える課題は多岐にわたっており原因も一つではないことなどから、相談業務には専門的なスキルが求められる場面がある。また、課題の背景には児童生徒の特性だけでなく、家庭や地域の環境も深く関わっているため、学校や関係機関と連携を図り支援を行う必要がある。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開
学校と教育支援センター指導員・学校相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の更なる情報共有を図り、児童生徒が抱える課題解決に向けた取り組みを行う。

10010105

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000292	教育相談事業	相談数（延べ人数）	人	250	289	現状のまま継続
2	01000293	教育支援センター事業	長期欠席（不登校）児童生徒の教育支援センター通室率	%	25	25.2	現状のまま継続
3	01000295	学校相談事業	相談数（延べ人数）	人	5,500	5,566	現状のまま継続
4	01000291	健全育成活動事業	青少年健全育成大会参加者の満足度	%	95	98.1	現状のまま継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010106

まちづくりの目標	第1章 人を育むまちづくり（こども・学び部門）	評価責任者	教育部長
基本事項 施策名	第6節 生涯学べる環境づくり	所管部署名	教育委員会生涯学習課
施策の展開	1 (1)学びの機会の拡充	関連部署名	
	2 (2)市民参加による事業の推進		
	3 (3)学びに関する情報の提供		
	4 (4)学習内容の充実	施策の目的	・市民が生涯にわたってあらゆる機会に、あらゆる場所において学び続けられることをめざします。
	5 (5)生涯学習施設の整備充実		
	6 (6)人材情報の活用と充実		
	7 (7)団体の育成・支援		
関連する個別計画・方針等	吉川市教育大綱		
	吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期第1版）		

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	生涯学習人材バンクの登録者数	者	33	32	40	80	40
			R3	R7	R7	R7	R8
	図書資料の貸出冊数	冊	453,887	384,970	493,412	78	500,000
			R1	R7	R7	R7	R8
	月1回以上の頻度で生涯学習を行っている市民の割合（市民意識調査）	%	－	29.5	57	51.8	60
			－	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☐ おおむね順調 ☑ やや順調でない ☐ 順調でない	・図書資料の貸出冊数の減少傾向が続いてしまっている。 ・生涯学習の頻度については、国の統計等を参考に目標設定をしたが、設問内容等が異なることから、評価が難しい指標となった。	2
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☐ 反映できた ☑ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	・人材バンクについては、1日体験講座を実施しながらニーズの把握に努めている。 ・公民館や図書館において、利用者アンケート等により利用者のご意見を伺い、利便性の向上に努めている。	3
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☐ 妥当であった ☑ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	生涯にわたって学び続けるための環境を整えるための活動場所、活動を始めるきっかけ、学習内容の充実などにより構成されており、妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	3

施策の評価	施策に関する現状と課題	総合評価
	・コロナ禍を経て、ライフスタイルの変化や民間を含めた学習コンテンツの多様化などが進んでいる。 ・指定管理者制度を活用している市民交流センターおあしすや市立図書館において、幅広い主催事業が実施されており、高い利用者満足度を維持している。 ・図書資料の貸出冊数の減少傾向が続き、読書離れの進行が懸念される中、新たな取組として令和7年度10月に電子図書館を導入した。 ・様々な事業を展開しているので、本事業の成果を表わす指標を検討する必要がある。	B：施策の目的が概ね達成されている

今後の展開
・既に行われている活動の充実とともに、生涯学習にかかる情報の提供について効果的な手法を検討することで、新たな生涯学習の機会創出を図る。 ・新たに導入した電子図書館を含め、子どもたちに重点を置きながら、図書館や読書の魅力を伝える取組を行う。 ・各公共施設において、利用者の声を伺いながら利便性の向上を図る。

10010106

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000316	学習情報提供事業	まちづくり出前講座参加者数	人	1,000	825	現状のまま継続
2	99000053	人材育成活用事業	人材バンク登録者数	人	40	32	現状のまま継続
3	01000333	社会教育推進事業（公民館費）	主催事業の満足度	%	98	99	現状のまま継続
4	01000329	中央公民館管理事業	施設利用率	%	45	34.94	現状のまま継続
5	01000330	平沼地区公民館管理事業	施設利用率	%	28	27.4	現状のまま継続
6	01000331	東部地区公民館管理事業	施設利用率	%	10	9.23	現状のまま継続
7	01000334	公民館運営事業	サークル公表団体数	%	45	38.6	現状のまま継続
8	01000337	地区センター施設管理事業	施設利用者満足度	%	96	93.68	現状のまま継続
9	01000341	市民交流センターおあしす等管理事業	図書資料の貸出冊数	冊	500,000	384,970	現状のまま継続
10	01000621	美南地区公民館管理事業	施設利用率	%	42	42.9	現状のまま継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010107

まちづくりの目標	第1章 人を育むまちづくり（こども・学び部門）		評価責任者	教育部長	
基本事項	施策名	第7節 文化芸術でつながるまちづくり	所管部署名	教育委員会生涯学習課	
	施策の展開	1 (1)文化財の保護・保存	関連部署名	政策室	
		2 (2)歴史資料の収集・調査・保存・活用			
		3 (3)文化財愛護活動の推進			
		4 (4)文化芸術活動の促進			
		5 (5)施設の整備充実			
		6 (6)多様な分野での文化芸術活動の活用			
	関連する個別計画・方針等	文化芸術を総合政策として推進するための基本的な方針	施策の目的	・歴史や文化を継承し、市民の郷土愛が育まれることをめざします。 ・優れた文化芸術に触れ合いながら、市民や団体が主体的に活動を行い、地域に根ざした文化芸術が発展することをめざします。 ・多様な文化芸術活動を通した地域課題の解決をめざします。	
		吉川市史編さん大綱			
		吉川市教育大綱			
		吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期第1版）			

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	文化芸術の取組に対する市民満足度（市民意識調査）	%	55.4	55.7	58	96	60
			R3	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☑ おおむね順調 ☐ やや順調でない ☐ 順調でない	・演劇プロジェクト、文藝よしかわ、生音コンサート等の事業が定着してきている。 ・文化芸術推進基本計画に基づき、取組を進めるとともに、他部署における文化芸術事業も展開できている。	3
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☐ 反映できた ☑ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	・各イベント等でアンケートを実施しながら、ご意見やニーズを踏まえ、改善を図ることができている。	3
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	・文化芸術推進基本計画に基づき、文化芸術振興事業、文化財保護事業などを推進できる構成であり、妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
・郷土愛の醸成を図るため、文化財などの歴史的資料の適切な保存に加え、展示・公開についても積極的に取り組む必要がある。 ・「文化芸術による幸福実感あふれるまちづくり」を推進するためには、多くの市民の方に文化芸術の魅力が伝わるよう、多様な文化芸術に触れる機会が必要である。 ・様々な分野の地域課題の解決に文化芸術を活用し、文化芸術が持つ力と文化芸術施策の重要性の認識を広げていく必要がある。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開
・市の歴史や伝統文化の理解を促進するため、歴史的資料について保存のみならず、文化財展などを開催することで活用に努め、郷土愛の醸成を図っていく。 ・市民の文化芸術活動の促進を図りながら、市民がそれぞれの関わり方で多様な文化芸術活動に触れられる事業を実施することで、市民一人ひとりの幸福実感の向上につなげる。 ・現在検討中の吉川美南駅前公共施設について、将来の市の文化芸術振興に資する施設となるよう検討を進めていく。

10010107

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000323	文化財保護事業	文化財企画展の来場者数	人	300	248	現状のまま継続
2	01000326	市史編さん事業	市史・市史関係刊行物・資料の発行	冊	3	3	現状のまま継続
3	01000327	史料保存活用事業	収集した歴史資料の数量	点	230	230	現状のまま継続
4	01000601	文化芸術振興事業	文化芸術の取組に対する市民満足度	%	60	55.7	現状のまま継続
5	01000325	郷土資料館管理事業	来館者数	人	250	266	現状のまま継続